

一般質問



木村 けんご 議員 (民・無)

高齢者や障害者等に優しいまちづくり、バリアフリーの進捗状況について

①現在、具体的にどのような箇所で行おうとしているのか。②社会参加を困難にしているバリアを除去することで、高齢者や障害者等の自立した生活を確保し、医療費増加に歯止めをかけるには、③区内の歩道や建物等、ある程度納得ができるバリアフリーになるには、どれぐらいの時間がかかるのか。④高齢者数の増加によって、70歳以上の人が使った医療費の総額は前年度比で2.9%も増加したと発表されたが、どのような施策を講ずれば⑤医療費削減が可能になるのか。⑥区民の健康を守っていきけるのか。⑦私たちが取り巻く環境が、健康者に合わせるのではなく、高齢者や障害者に合わせていくことで、真に人に優しいまちづくりになるには、⑧環境や地域に合わせた区独自のバリアフリーがあってもよいのでは。

①現在、具体的にどのような箇所で行おうとしているのか。②社会参加を困難にしているバリアを除去することで、高齢者や障害者等の自立した生活を確保し、医療費増加に歯止めをかけるには、③区内の歩道や建物等、ある程度納得ができるバリアフリーになるには、どれぐらいの時間がかかるのか。④高齢者数の増加によって、70歳以上の人が使った医療費の総額は前年度比で2.9%も増加したと発表されたが、どのような施策を講ずれば⑤医療費削減が可能になるのか。⑥区民の健康を守っていきけるのか。⑦私たちが取り巻く環境が、健康者に合わせるのではなく、高齢者や障害者に合わせていくことで、真に人に優しいまちづくりになるには、⑧環境や地域に合わせた区独自のバリアフリーがあってもよいのでは。

④見守り活動を行っていたら、町会・自治会の方々も高齢化してきている。若い人たちに町会・自治会に積極的に協力していただくためには、どのような策があるのか。 福祉部長 ①高齢者数は増加傾向にあり、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯は増加する見込みだ。②高齢者見守りネットワーク事業では、見守りが必要な方を対象としており、年齢要件を設ける必要はないと考えている。③日ごろからの見守りが大切であり、速やかな「気づき・予防・発見」を行うことで、孤立死の未然防止につながる。④新規事業や加入促進への助成等の支援を強化しており、担い手候補の発掘につながるよう、引き続き努めていく。

健康マージャンと高齢者の健康について ①本区では福祉事業の一環として、いきいき健康マージャンを開催しているが、将来的な展望は。②健康マージャンは認知症予防などに効果があると言われている。多くの区民が参加できるように、地域センター等の施設での開放や用具の提供などを考える必要があるのでは。 福祉部長 ①高齢者の社会参加や仲間づくりは重要な。日本健康麻将協会や長寿社会文化協会との共催であるため、協会等と協議の上、検討していく。②現在、健康マージャンは区有施設5か所で13コース行っており、用具は協会から提供してもらっている。



沢田 洋和 議員 (自・未)

主権者教育のあり方と若者の政治意識向上について

①平成28年参院選で18歳選挙権が適用されたが、若者の投票結果をどう分析しているのか。②小中学校での主権者教育について③実施状況は。④区議会議員と生徒が意見交換をする等の取り組みを行っている。⑤まずは自分が住まわちを知ることが重要では。⑥若者の政治意識向上を図るため、学生団体等との連携を深めては。⑦親子同伴で投票所へ足を運ぶことを推奨しては。⑧今後の主権者教育のあり方について見解を。 選挙管理委員会委員長 ①品川区の新興権者の投票率は60・86%と高く、若者の政治参加の高まりが裏づけされた。②連携の可能性を探っていく。③学校での出前選挙や選挙の際に啓発していく。 教育長 ④7市民科では、身近な社会に関心を持ち参加することの大切さを学習している。⑤1研究課題と考えている。⑥まちについて調べる学習を進めている。⑦子ども自身が身近な地域を学びの題材として取り上げ、解決しようとする力を養うことが、主権者教育にも資すると考える。

①10月に品川区で開催される、全国シティプロモーションサミットと自治体間交流の促進について ②10月に品川区で開催される、全国シティプロモーションサミットに於ける区長の意気込みは。③シビックプライドを醸成していくための取り組みは。④サミット開催期間と連動する形で、しながわ観光フェアを行い、訪れている自治体関係者に品川区の魅力を知っていただければ。⑤サミットを機に、より一層の自治体間交流の促進を図っては。 区長 ①サミットを主催するにあたり、品川区ならではの特徴と魅力を全国に発信する場として活用していく。②シティプロモーションの活動を通じて、地域への誇りと愛着を高めていく。③連携して開催することで、より一層の事業成果を出せるよう工夫していく。④80近くの自治体と交流・連携を進めている。

地域振興部長 ①報道はもとより、商工相談員や区内産業関係団体等からの情報収集に努めている。②29年1月未現在、貸しオフィスは満室、オープンラウンジの会員は個人・法人合わせて12会員となっている。③効果的な連携を研究していく。④新たなイノベーションを生む拠点都市として品川区をPRしていく。⑤様々な場面で情報提供等に努めていく。 地域振興部長 ①町会・自治会と商店街が共同で事業を行う際に、よりスムーズな支援ができるよう。 地域振興部長 ①町会・自治会・商店街が共同で事業を行う際に、よりスムーズな支援ができるよう。 地域振興部長 ①町会・自治会・商店街が共同で事業を行う際に、よりスムーズな支援ができるよう。



大森駅水神口に開設された地下機械式駐輪場